

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年3月18日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676100235
法人名	社会福祉法人 豊生会
事業所名	グループホーム 隼人
所在地	鹿児島県霧島市隼人町松永3630番地3 (電話) 0995-64-2520
自己評価作成日	平成26年2月17日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム隼人は、温泉の湧き出る緑に囲まれた住宅地の一角にあります。天気の良い日は散歩などで景色を楽しんでいます。お風呂も温泉浴でアトピー・神経痛・肩こり・リュウマチ・胃腸障害などに効果があり、かけ流し湯で皆様、温泉浴を楽しんでおられます。開設10年を迎え平均年齢・介護度も高くなりましたが、皆様とてもお元気で生活されています。夏には、地域の方々や他の事業所の方々をお招きしての焼肉交流会を、冬は老人会、婦人会の方々の協力を頂き餅つき・そば打ちを行っています。どちらとも毎年の恒例行事として、定着しています。お正月は近くの鹿児島神宮に初詣でに、ドライブを兼ねて霧島神宮に参拝に、とお連れしています。毎日の健康観察により体調不良の早期発見・早期対応に努めています。食事も旬の物を提供し食事の中から季節を感じて頂けるように心掛けています。皆様をご家庭で過ごされる時と同じように、安らげて、安心できるように職員一同家族のような気持ちで支援させて頂いています。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年3月7日

- ・町内会に入り地域の清掃作業や校区運動会・文化祭・十五夜などに参加して、地域住民と密着した交流をしている。
- ・運営推進会議が定期的に行なわれ、消防署から参加してもらい、事前に災害訓練をして参加者からの意見や提案を運営に活かしている。
- ・利用者の思いや生活歴、現在かかえている課題などを、職員が日常会話などを通して情報収集し課題分析し、その人らしい生活の計画を作成している。
- ・ホームで終末の看取りをして欲しいとの声があり、指針に沿って早い段階から家族や医療などと細かい連携をしている。看取りの事例がある。
- ・職員間で馴れ合いにならないように、言葉使いや支援を通してお互いに研鑽している。
- ・理念の4項目の中から、職員が業務につく前に、自分でひとつ決め1日が始まり、目標の振り返りを行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	朝の申し送り時、理念の確認と入居者様中心の介護を心掛けるよう申し送っている。	グループホーム独自の理念を作っている。玄関の正面に理念が掲げてあり、職員一人ひとりが業務に入る前に、4項目の理念の中から1つ自分で選び、その日1日理念に基づいてどのようなケアをしていくとのノートに申告して当日の振り返りをしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎月の交流はないが、夏や年末の行事等では、地域の方々の参加協力で入居者様・職員とが触れ合える交流はある。	地域住民や他の事業所を招待して焼肉パーティーをしたり、ホームでそば打ちや餅つきを地域の老人会や婦人会の協力で行っている。野菜の差し入れを頂いたり、災害訓練に近隣住民や地域からの参加がある。介護相談場所にもなっている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	電話での問い合わせや相談には出来る限りお答えしている。人材育成の貢献として実習生の受け入れも積極的に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議に出席された方々からご意見を話し合い、その結果職員全員で取り込むように心掛けている。</p>	<p>会議は定期的に行われている。利用者の状況やホームの現状・行事の報告・外部評価結果報告等がなされ、参加者から活発な意見が出て、避難用の器具が設置されたり、利用者のための企画運営がなされている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>入居者様の認定更新時の際、担当者の方へ日頃の状況を伝えている。必要とあればその都度、市役所に連絡し助言を頂いている。</p>	<p>市の担当者とは身近に相談し、最新の情報の取得ができています。研修の案内も受けている。福祉関係の相談や情報も行政と連携し取り組んでいる。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>日々の動作を把握し、ご本人らしく自由に安全に暮らして頂けるよう支援している。やむを得ず身体拘束を実施しなければならない状況の際は家族に相談し同意を頂いている。</p>	<p>母体で取り組んでいる身体拘束ゼロ対策と共に、ホームでも身体拘束禁止委員会を設置している。法人での研修会に参加したり、ホームで勉強会を行っている。自傷行為のある利用者には家族と相談しながら見守っていくという経験もある。玄関の外に出る利用者には近所の協力ももらっている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>法人内・GHでの勉強会や職員間で注意し取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	勉強会、研修、新聞やテレビの報道を通じて制度の在り方や知識を高めている。その内容を現場に活かせるように話し合っている。		
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時は、時間をとって説明を行っている。特に加算などは利用料金に反映するため特に時間をかけて説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時や家族会でご家族の意見を頂けるよう意見箱を設置している。	利用者からは日常の会話の中から思いを聞いている。家族からは面会時や家族会・運営推進会議などで事業所の報告や個別に現況報告をしたり、家族と話しをして希望や意見などを聞き取り運営に反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	勉強会などで職員の要望・意見が出せるように雰囲気を作り一人ひとりが話し易いように心掛けている。	勉強会やミーティングなどで意見を出し合っている。利用者の不穏行動などを察して、どうしても不穏状況になるのか、いつもみんなで考えるようにして意見交換している。管理者は個人的な相談にも気軽に対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の資格取得に向けた支援を行っている。年2回の人事考課を行い、職員が向上心を持って働けるように働き掛けている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新人研修・外部研修に参加している。参加した職員は研修内容を報告し他に職員はそれぞれ学習している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との交流・研修会、意見交換会の場を通じて、サービスの内容、質を向上させていく取り組みを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	同じ目線と価値観を持って話をしている。安心と信頼を多く感じ取って頂けるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所の際ご家族の思いや不安に感じている事をお聞きし少しでも解消できるように関係づくりに心掛けている。面会時など話が出来ると雰囲気努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所時に「何が必要か？」お尋ねし必要なサービスの支援に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人が出来ない事はして頂き、出来ない時に支援している。すべてを支援するのではなく出来ない所を見極め支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会に来られた際、居室でゆっくりと過ごして頂けるようにしている。他の入居者様との交流を図って頂けるようにホールで過ごして頂く事もたまにある。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や面会に来てくださる方々が和めるような雰囲気作り、外出の機会を多く設け知合いとの触れ合いを持って頂けるように心掛けている。	知り合いや親戚など面会が多い。利用者から希望を聞き、職員とドライブで、以前住んでいた場所の知人に逢って話しをしたり、家族と墓参りや親戚に行くなどの外出支援をしている。2ヶ月に1回馴染みの美容室から訪問もある。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一緒にゲームを楽しんで頂いたり、歌を唄ったりして昔の若い頃の思い出を語って頂き、入所者様同士が関わりを持てるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	季節の手紙でのやり取りや新たに入所された場所に面会に行くなどして関係性を継続している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様のご意見や要望に応えるように支援している。	個別に日常の会話や状態把握をしたり、家族の要望などを聞き、以前の生活歴などをアセスメントし課題分析をしている。不穏状況など困難な事例については、職員みんなで細かく観察して意見を出し合い、本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	会話やご家族のお話の中で情報を得られるように心掛けている。コミュニケーションを量りその中からも情報を把握できるよう努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様一人ひとりの行動や言葉に気を付け小さなことでも把握できるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプランを職員一人一人が理解し利用者様との関わりを持つことにより不安なく安心して生活の支援が出来るように努めている。ご家族の意見も反映させながら介護計画書を作成している。	利用者や家族から思いや希望を聞き、日常の会話や表情などから思いを汲み取り情報を集め、介護計画を作成している。定期的にモニタリングを行い、気づいたことがあれば即計画に取り入れている。現状に即した介護計画となっている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>入居者様個別にファイルがあり日々の状況や気づき、ご本人の発する言葉を記録し職員間で共有している。常に情報の共有は図っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>入居者様お一人おひとりに対してその都度柔軟な対応を行っている。職員も自分の担当する入居者様に対してケアプランを見直している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>日々の生活の中で散歩などで地域の方と挨拶を交わすなどしている。2ヶ月に1回理容サービスを行うなどし地域との関わりを築いている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入所前からのかかりつけ医は変更する事なく継続しかかっている。受診などは基本的に職員の方でお連れしている。</p>	<p>利用者と家族に入居時にかかりつけ医の確認を行い、受診を支援している。受診は家族ができる場合は協力してもらえない時は事業所で支援している。協力医療機関からの往診もあり、医療連携が整っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日々の関わりの中でこつこつとした情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>入居者様の体調・異常が見られた場合、看護師に連絡し病院への連絡、受診を行っている。入居者様の情報交換も常に行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入居者様やご家族が安心して治療に専念できるように、病院関係者との連携を図っている。何時、退院されても受け入れられる準備も常にしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時、重度化になった場合を想定しご家族と話し合っている。ご家族に意思確認書を提示し事業所での対応について説明を行っている。</p>	<p>重度化や終末期に向けた指針があり、本人や家族に説明し、同意をもらっている。段階的に何度も話し合い、方針を利用者や家族と共有している。不安がないように主治医・看護師との医療連携を細かく行なっている。看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>法人内の勉強会で急変時の対応についての研修などに参加している。GHに設置してあるAEDも月一回持ち回りで使い方を再確認している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	GHでの自主避難訓練や法人内でも緊急対応の訓練に参加している。	年2回、消防署の指導のもと、昼夜間を想定し、地域や近隣住民・家族も一緒に参加して災害訓練を行っている。自動通報装置やスプリンクラーの設備、消火器やAEDの導入がある。災害時の備蓄も完備されている。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	同じ目線に立ち一人ひとりに応じた言葉かけに心掛けている。自己決定が出来るような声かけを行っている。	言葉かけは、馴れ合いにならないように、トイレ誘導などの時、一人ひとりの尊厳を大切にしながら周囲に気づかれないさりげない誘導をしている。研修や勉強会で認識を深め資質向上を目指している。居室やトイレのドアは閉めたり、入浴は同性介助を行い、排泄・入浴・更衣のときは、声かけに注意をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	希望や思いをお尋ねし、行動、言葉に気配りを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お一人おひとりの生活を見守り表情や行動の中で必要としているものを一緒に寄り添う事で支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご本人の好きな色、柄などを一緒に選ぶお手伝いをしている。常に身だしなみには気を配っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	基本、皆様と一緒に召し上がって頂いている。検食の意見を参考にメニューを考えている。お一人で召し上がりたいと希望があれば要望に応えるようにしている。	好物や食べたい献立を聞き、個別的にできる範囲で希望を取り入れている。利用者の力量に合わせて、つわの皮むきや豆むきを職員と一緒にしている。魚の好きな人が多く刺身も出している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの一日の摂取量を把握している。個別に食事制限のある方は主治医の指示のもと提供している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後は必ず口腔ケアを行って頂いている。うまく出来ない方は職員の方で支援している。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄のパターンを把握し、それぞれに声かけをしている。パット減に努めている為、日中は出来るだけトイレでの排泄を支援している。	排泄を毎回、チェック表に記録して、習慣やパターンを把握し、周りに気づかれないように、さりげない声かけをしながらトイレ誘導をしている。訴えの無い利用者も、時間ごとにトイレに誘導して、トイレ排泄を基本としている。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一人ひとりの排泄サイクルを確認し水分・食物繊維が多く含まれる食品が摂取できるように心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している</p>	<p>男性・女性と入浴は個別に実施している。男性はお互いの了解が得られれば一緒に入浴して頂く事もある。</p>	<p>入浴日は一応決めているが、要望に応じて随時対応している。入浴剤のゆず湯やしょうぶ湯で楽しく入浴できるように工夫している。かけ流しの温泉がある。大浴場や中浴場・リフト入浴と多彩である。日曜を除いて毎日入浴でき、夕食後入浴という人もいる。同性介助である。個々に合わせて支援している。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>居室で休みたい時などは居室へ誘導しホールでゆっくりされたい時はマットなどを準備し対応している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>入居者様一人ひとりの内服薬の内容を把握し理解に努めている。変更があった場合は、その都度申送りしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>入居者様方にレクリエーションのリーダーになって頂いている。毎回、同じ内容は行わないように心掛けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天気が良い日などは苑内外の散歩やドライブにお連れしている。初詣でやお墓参りなども出来る限りお連れしている。</p>	<p>日常的には、体調や希望に合わせて、近所を散歩している。年間計画で、花見や地域の行事などに参加したり、家族と受診や墓参りなどの帰りに外食や買い物をしている。法人の夏祭りや初詣では、弁当を持っての外出を楽しんでいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>法人内の行事（夏祭り）又は外出の際本人の意思でお買い物が出来、支払えるように支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>送り物が届いた時はご本人に電話でお礼が言えるよう支援している。電話の取次ぎをしてお話もして頂いている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>トイレはカレンダーや季節の花を飾ったりしている。適度に換気や湿度調整を行っている。ホールの壁には入居者様の写真や作った作品などを飾っている。</p>	<p>リビングのエアコンは冷房や暖房が直接利用者に当たらないように配慮して、換気を心掛けて、温湿度計が壁にかけてある。加湿器もある。季節の花や飾りつけがしてあり、ホールは清潔で明るく、利用者の写真やすし桶や菓子箱に作品を張りつけて、飾ってある。季節に合わせて家具を動かし居心地良く家庭的に過ごせる工夫がみられる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>入居者様が作った作品を居室に飾ったり家族との写真を貼ったりして自分の空間作りを工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた物や小物などを部屋に置き、ご本人が心地よく過ごして頂けるように配慮している。</p>	<p>洗面台やタンス・ベッドが事業所で準備されている。家具や仏具・絵・習字・写真等の馴染みの物が持ち込まれている。毛布は自分の使い慣れたものを持ち込み、安心して過ごせるように配慮されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>歩行困難な方車椅子で自走される方の出来る事を見極め、安全に生活できるように環境作りに努める。</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない